

業績説明会資料

# 新中期経営計画(2017-2019)

2017年5月25日

 **日油** 株式会社

# 本日の報告内容

- 前中期経営計画(2016中計)のレビュー
- 新中期経営計画(2019中計)概要

## ■ 前中期経営計画(2016中計)のレビュー

# 2016中計実績

[単位:億円、%]

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2016年度 計画
売上高	1,610	1,677	1,705	1,741	1,700
営業利益	153	171	194	243	180
経常利益	176	190	202	250	—
売上高営業利益率	9.5	10.2	11.4	14.0	10.5以上
売上高経常利益率	10.9	11.3	11.8	14.4	—
ROA ※1	10.3	10.2	10.3	12.1	—
ROE ※2	9.1	9.7	10.2	12.3	9.4

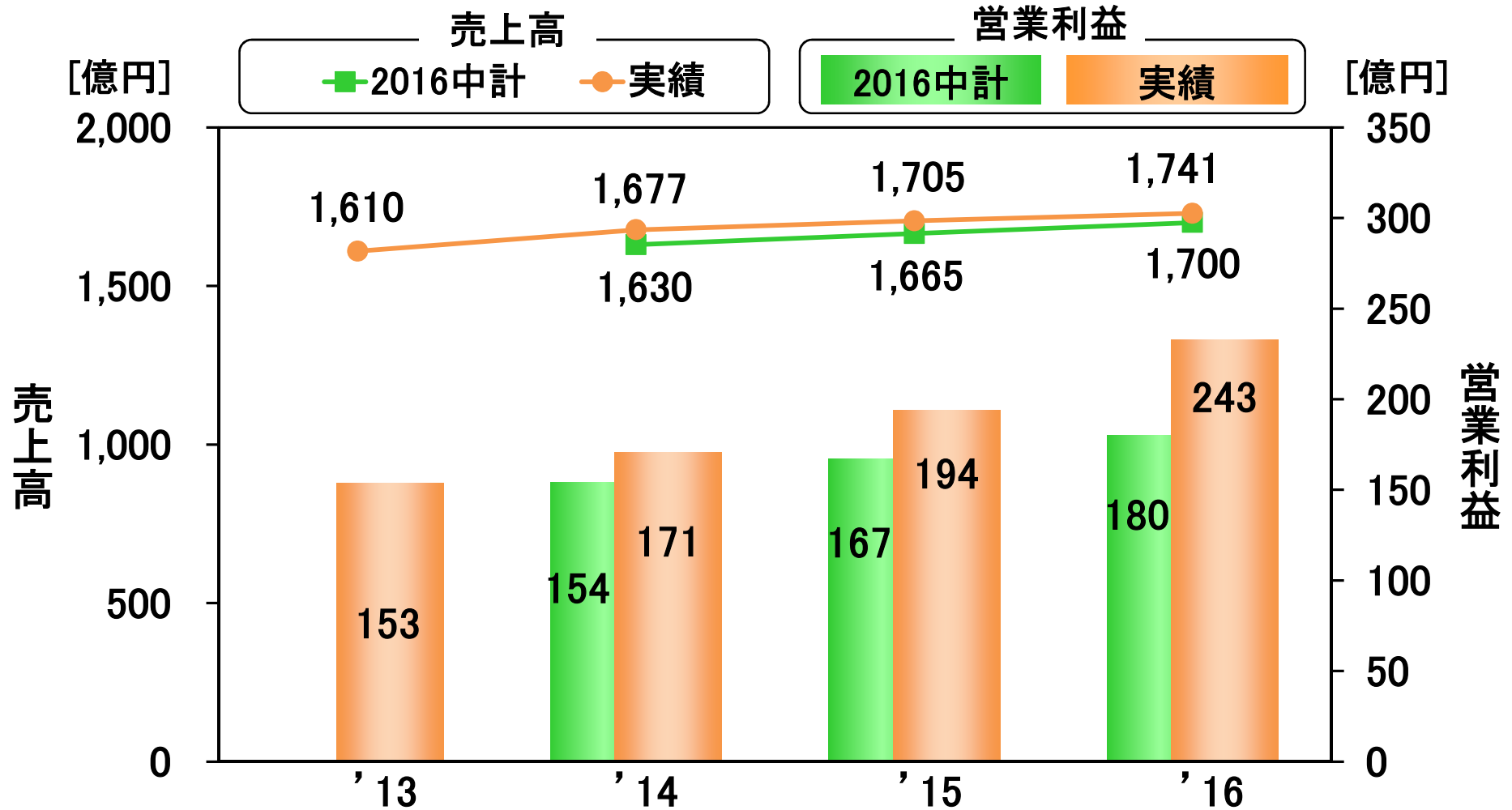
※1 ROA:総資産経常利益率

※2 ROE:自己資本当期純利益率

- ・2014年度:消費税率引上げ(5→8%)、中国・アジア新興国の成長鈍化
- ・2015年度:急激な円高、原油価格の低迷
- ・2016年度:緩やかな回復基調の継続

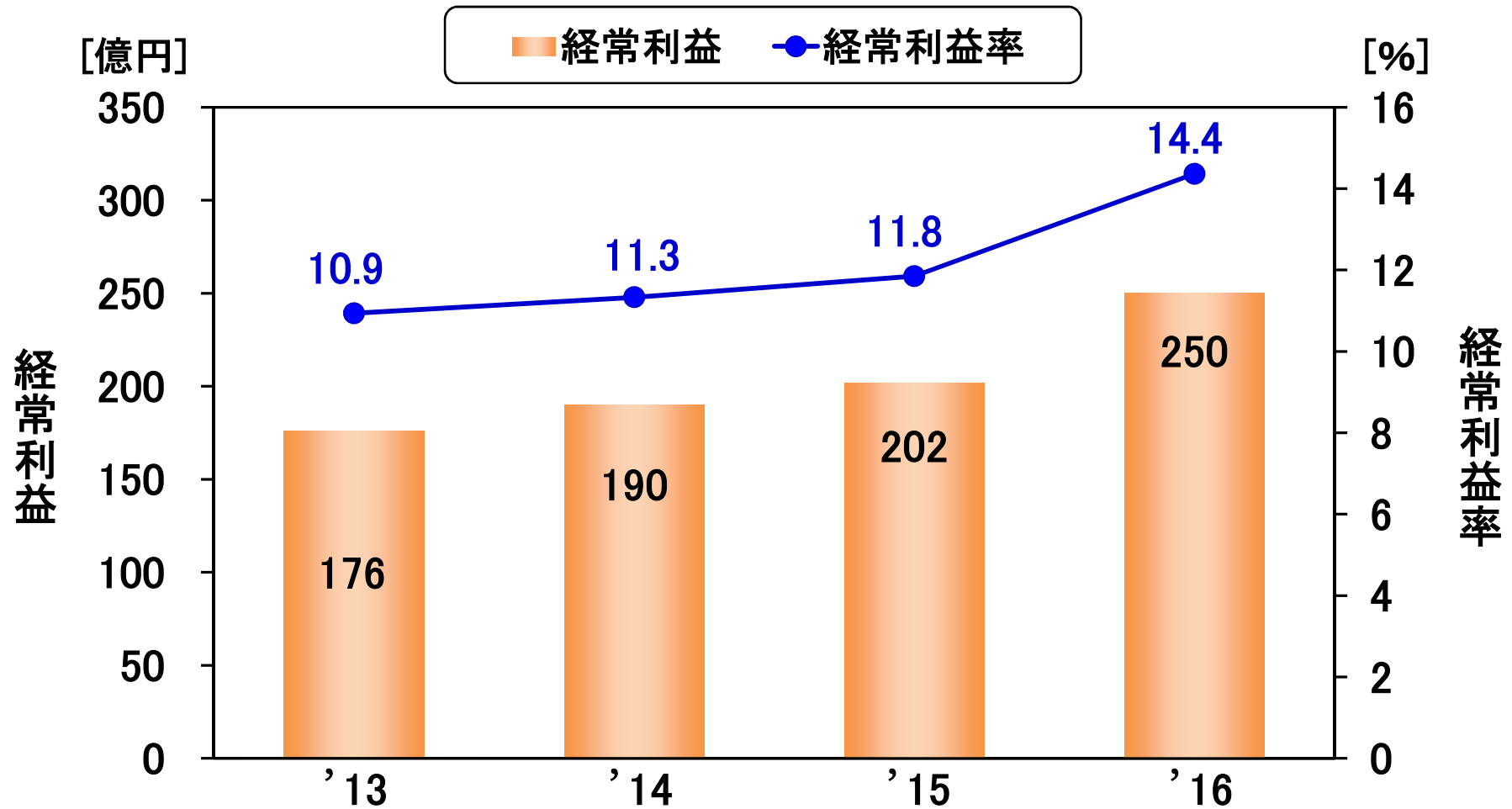
# 売上高・営業利益の推移

## ◆2016中計期間(3期)売上高、営業利益計画の達成



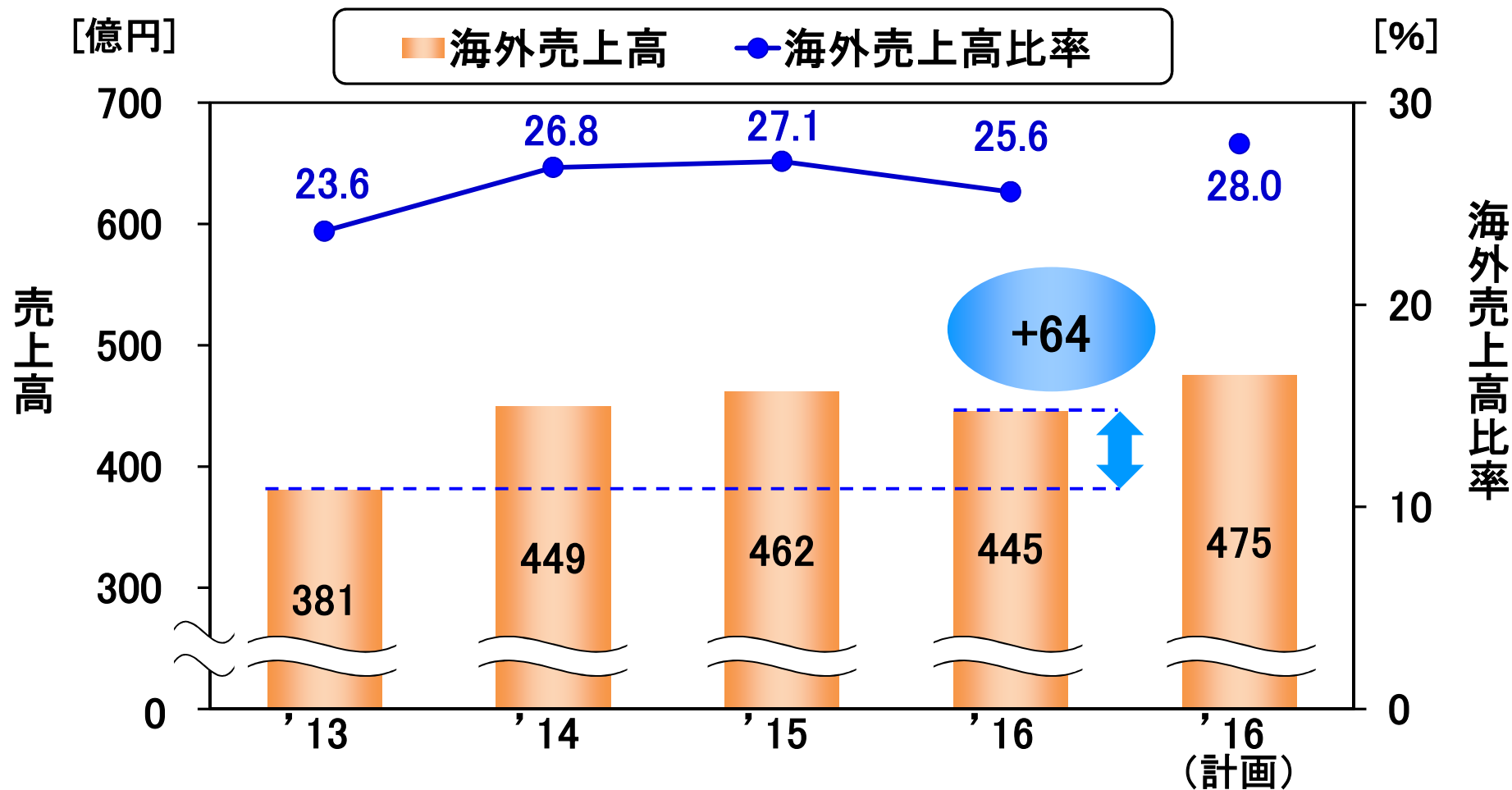
# 経常利益、経常利益率の推移

◆2016中計期間(3期)連続で過去最高値の更新



# 海外売上高推移

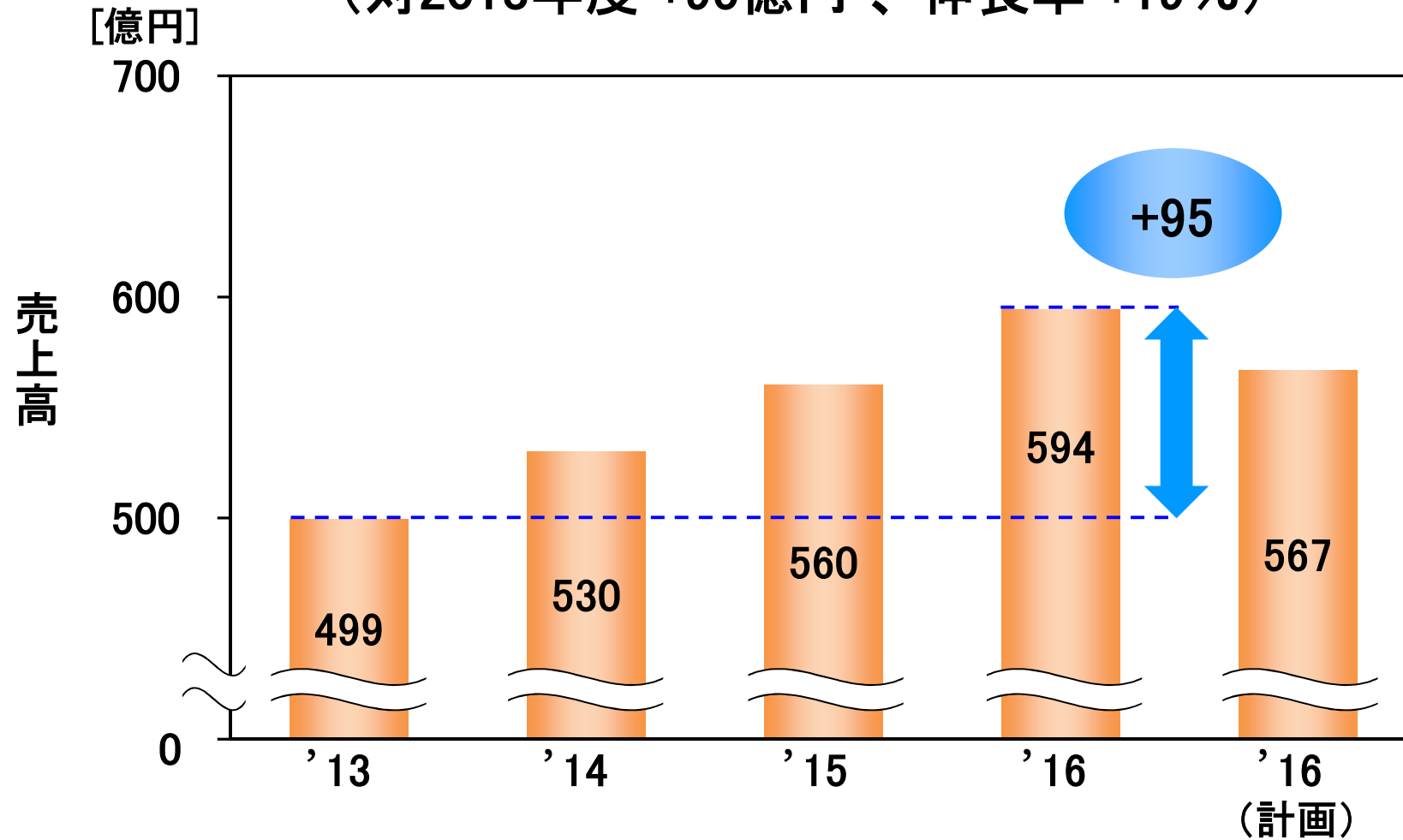
◆海外売上高は拡大  
(対2013年度 +64億円、伸長率 +17%)



# 高機能・高付加価値製品の売上高推移

## ◆高機能・高付加価値製品の拡販

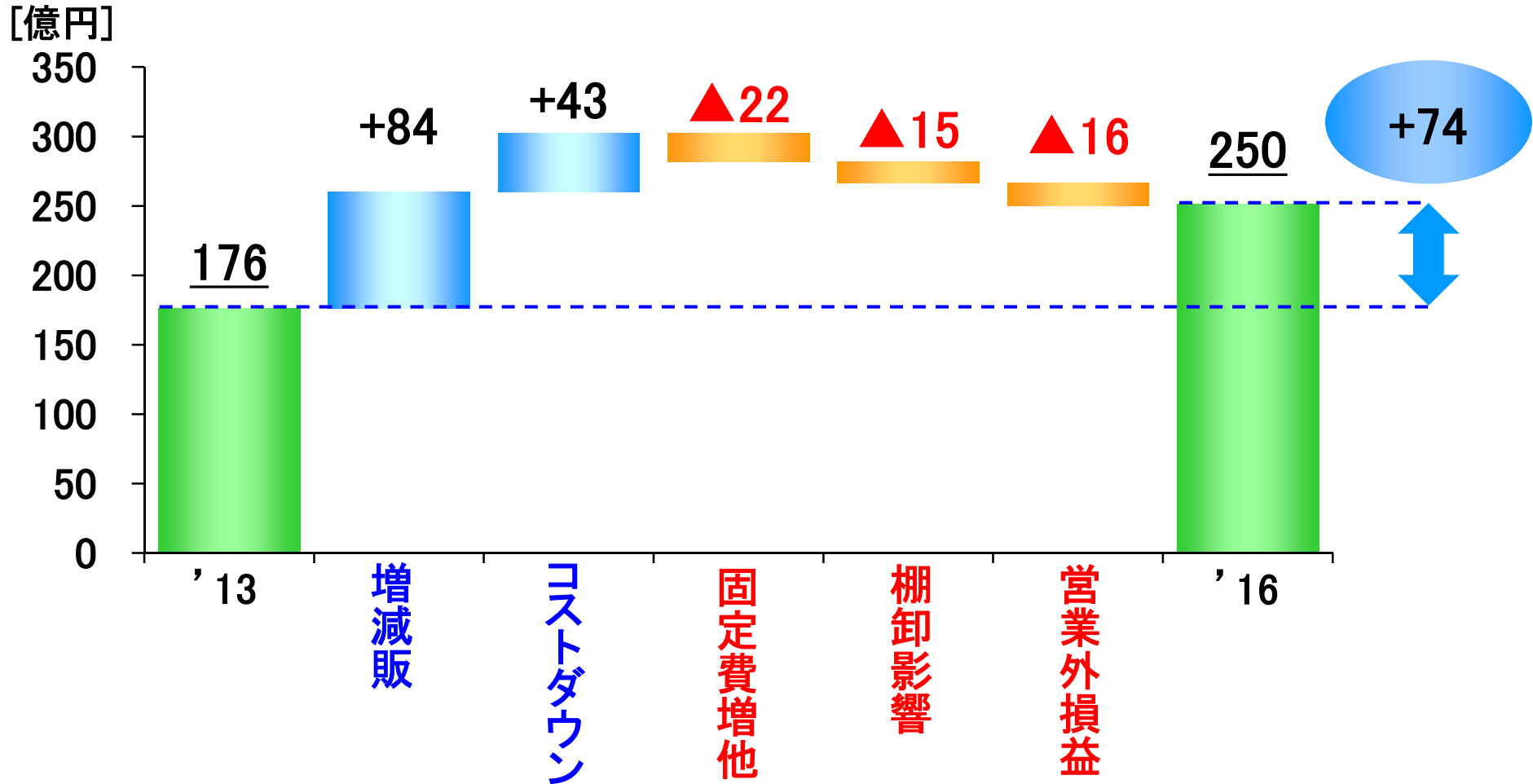
(対2013年度 +95億円、伸長率 +19%)





# 経常利益の差異内訳(対2013年度)

- ◆増減販 : 機能化学品・ライフサイエンスセグメントの伸長
- ◆コストダウン : 生産コストの低減



## 新中期経営計画(2019中計)概要

# 日油グループの目指す分野

## ライフサイエンス分野

- ワクチン用材料
- 医療用ハイドロゲル材料
- 蛋白質医薬用修飾剤
- アンチエイジング材料
- アミノ酸活性剤
- 化粧品原料
- 医療用栄養食
- 健康食品
- 食用油脂
- 脂肪酸誘導体
- (メタ)アクリル酸誘導体
- 有機過酸化合物
- EO・PO誘導体
- 推進薬・発射薬
- 産業用爆薬
- 遺伝子治療用材料
- 核酸治療用脂質
- 抗体医薬用修飾剤
- オーラルケア用材料
- 点眼薬用材料
- コンタクトレンズ材料
- 再生医療用材料
- 診断薬用添加剤
- アイケア製品

## 電子・情報分野

プリントドエレクトロニクス材料

導電性インク

高機能接着剤

RFIDタグ

レジスト材料

導電ペースト用添加剤

FPD用機能フィルム

FPD用コート剤

トナー用添加剤

機能性添加剤

冷凍機用潤滑基材

## 環境・

## エネルギー分野

花粉抑止剤

高機能防錆剤

海洋開発機器

高機能防曇剤

水処理膜用薬剤

機能性ハードコート剤

機能性エラストマー

## 新技術の開発

## コア技術

既存製品

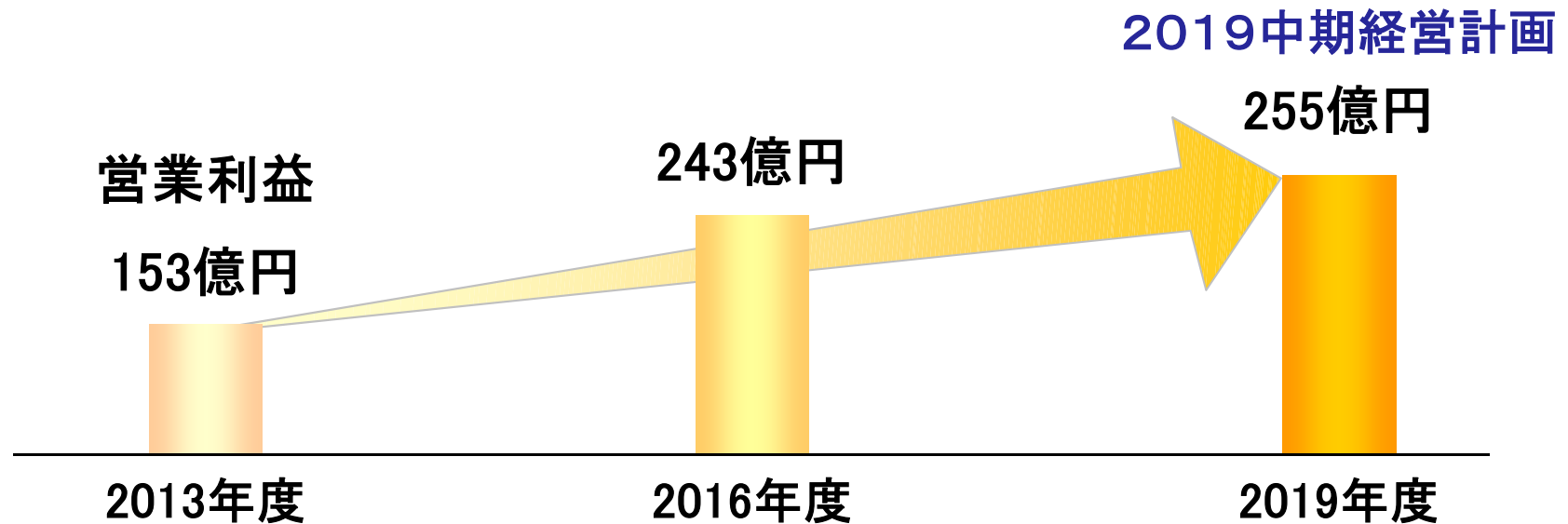
新規開発品

次世代新製品

# 日油グループの目指す姿

## ビジョン(ありたい姿)

人々の豊かな暮らしを育むため、ライフサイエンス、電子・情報、環境・エネルギーの3分野において、多彩な製品をグローバルに提供し続ける企業グループ



# 2019中計期間中・日油グループを取り巻く 想定事業環境

## 【国内】

- 緩やかな回復基調継続
- 国際的政治動向の不透明感継続

## 【海外】

- 米国: 緩やかな景気拡大
- 欧州: 堅調な景気回復の継続
- 中国: 景気は緩やかな減速

		2016年度 (実績)	2019中計 (想定)
パーム油 (FOBマレーシア)	US\$/MT	571	700
国産ナフサ	円/KL	34,700	37,500
為替レート	円/US\$	109	110
	円/EUR	120	120

# 2019中計の基本方針

## 革新的価値の創造と拡大

重点課題

1 新製品・新市場の創出

2 生産性の向上

3 グループ経営の強化

4 CSR活動の推進

## 1. 新製品・新市場の創出

# 1-1. 新製品開発

## 1. 新製品上市の加速

- ・目指す3分野への積極的な研究・技術開発投資
- ・研究開発要員の増強による製品開発のスピードアップ

## 2. 研究テーマの拡大

- ・マーケティング活動の強化による市場ニーズの把握
- ・国内外での産官学連携による研究テーマ拡大
- ・人財ローテーションの活発化

	2016中計 (実績)	2019中計 (計画)
研究開発費 (累計)	203億円	225億円
研究開発要員(最終年)	対2013年度 +3%	対2016年度 +10%

1. 新製品・新市場の創出

## 1-2. 産官学との連携例

分野	市場ターゲット／ 年平均成長率	当社製品	主な連携先
ライフサイエンス	医療機器 5.6% ※1	メディカルデバイス用材料	東京大学
	バイオ医薬品 8.1% ※2	核酸治療用脂質	北海道大学
電子・情報	プリントド エレクトロニクス 8.3% ※3	導電ペースト用添加剤	産業技術 総合研究所
環境・エネルギー	自動車 2.4% ※4	機能性添加剤	名古屋大学

※1 Medical Devices:Technologies and Global Markets (2016-2021)

※2 Evaluate Pharma World Preview (2010-2020)

※3 Global Printed Electronics Market (2017-2021)

※4 IHS (2015-2022)

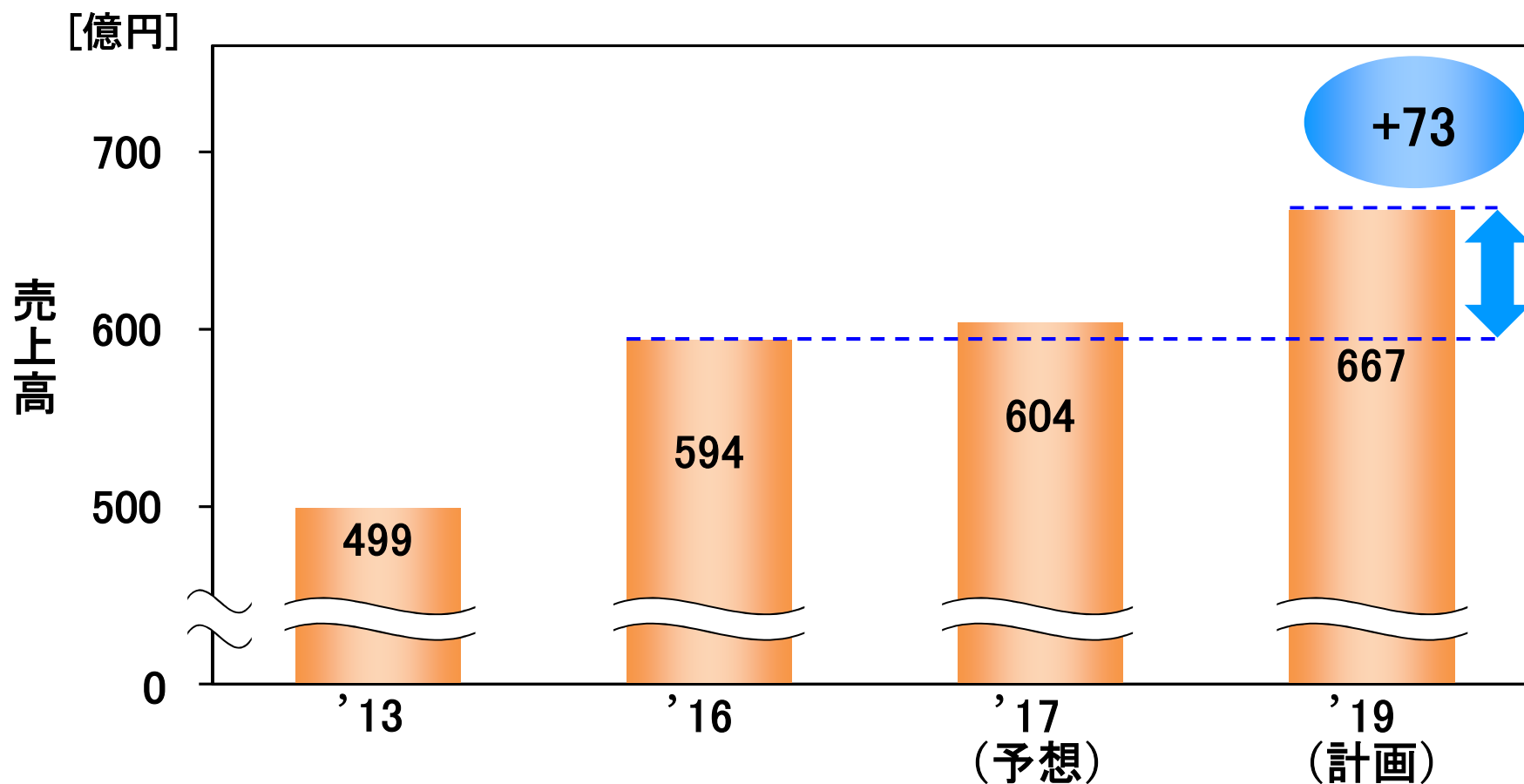
2016中計実績 : 145件



## 1. 新製品・新市場の創出

# 1-3. 高機能・高付加価値製品の売上高

- ◆ 「新製品上市の加速」・「研究テーマの拡大」を推進  
(対2016年度 +73億円、伸長率 +12%)



## 1. 新製品・新市場の創出

# 1-4. 海外事業展開

- ・高機能・高付加価値製品の拡販
- ・海外市場への供給体制強化
- ・海外営業要員の増強
- ・ナショナルスタッフの活用
- ・グループ海外拠点の連携強化



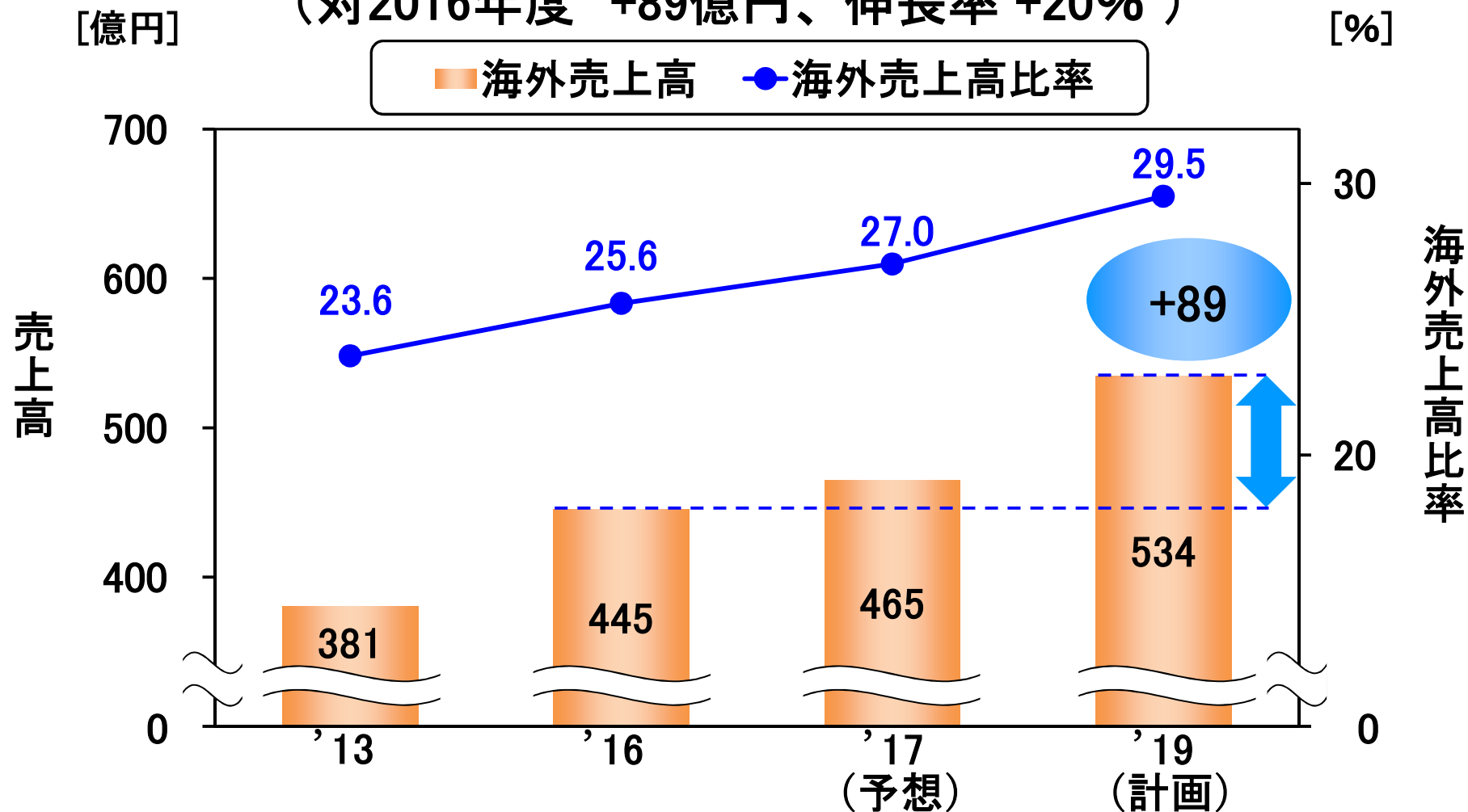
	2016中計 2016年度(実績)	2019中計 2019年度(計画)
海外営業要員	対2013年度 +19%	対2016年度 +10%
海外売上高	対2013年度 +64億円 (+17%)	対2016年度 +20%以上

# 1. 新製品・新市場の創出

## 1-5. 海外売上高の実績・計画

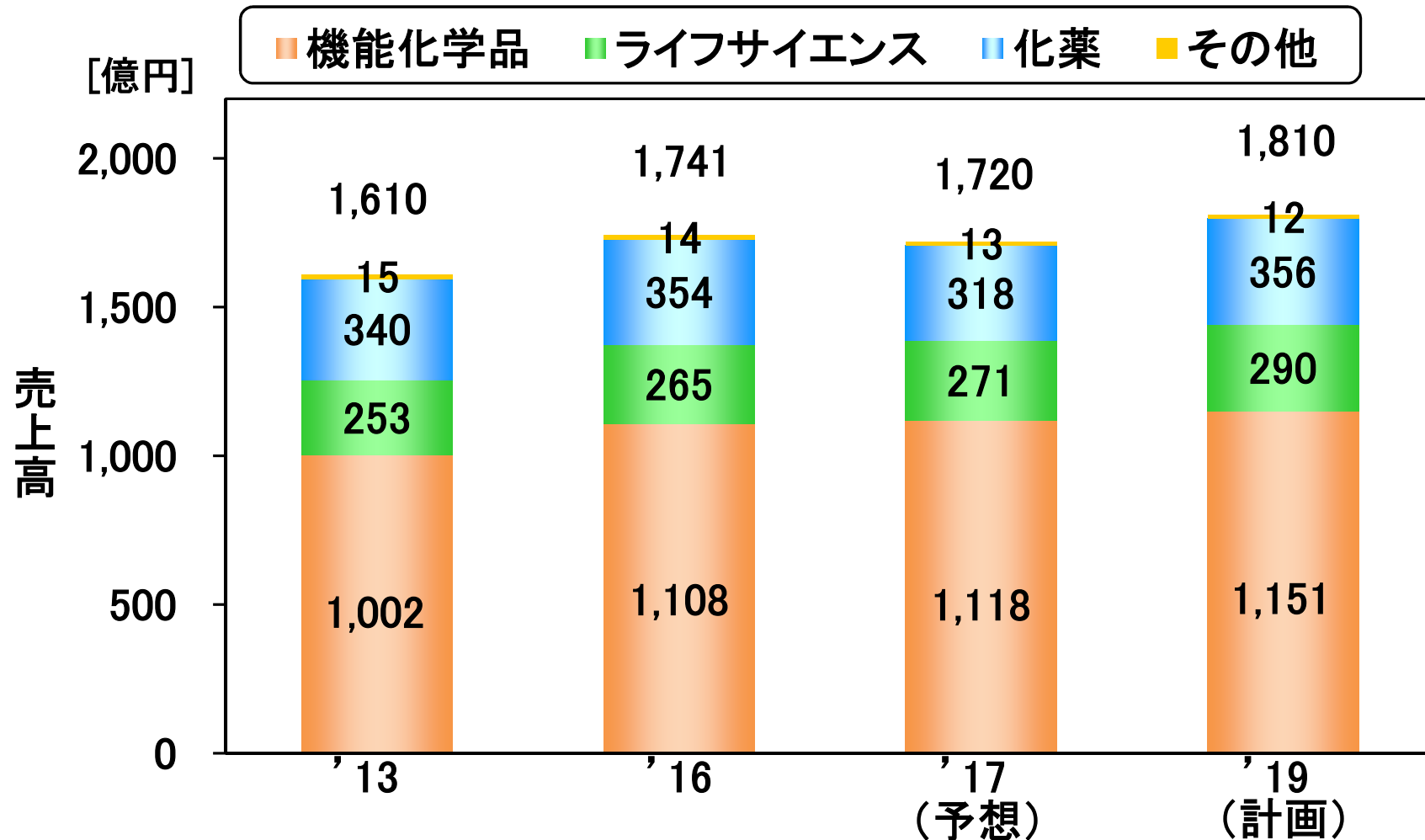
### ◆ 海外売上高の拡大

(対2016年度 +89億円、伸長率 +20%)



# セグメント売上高の推移

◆ 化薬事業の一時的な需要減少



## 2. 生産性向上の取り組み

### 1. 設備投資の推進

- ・目指す3分野への設備投資の推進
- ・高機能・高付加価値製品の生産能力の増強

### 2. 生産性向上の推進

- ・省力化投資の推進
- ・コスト削減の徹底



ライフサイエンス製品  
製造設備(川崎)

	2016中計 (実績・累計)	2019中計 (計画・累計)
設備投資 ※	183億円	260億円
減価償却費	144億円	160億円

※ 検収ベース

### 3. グループ経営の強化

## 3. グループ経営の強化

### 1. グループシナジーの発揮

- ・グループ資産の有効活用
- ・固有技術の相互利用

### 2. 経営およびリスク情報の管理強化

- ・グループガバナンスの強化
- ・事業継続計画(BCP)の推進

### 3. 人財育成

- ・人財グローバル化の推進
- ・グループ内の人財交流およびローテーション



国内外関係会社との  
安全・生産技術交流  
(インドネシア・中国・日本)

## 4. CSR活動の推進

# 4. CSR活動の推進

 <b>組織統治</b>	コンプライアンス
	事業継続
	RCマネジメント
 <b>個の尊重</b>	ワーク・ライフ・バランス
	人材の活躍
	能力開発
	安全教育
 <b>RC活動</b>	環境安全
	労働安全
	設備安全
	製品安全
	物流安全
 <b>社会との共生</b>	公正な競争・取引
	情報開示
	対話活動
	社会貢献活動



体感型安全教育



地域との交流

## 2019中計 計画値

[単位:億円、%]

	2016年度 実績	2017年度 予想	2019年度 計画
売上高	1,741	1,720	1,810
営業利益	243	220	255
売上高営業利益率	14.0	12.8	14以上
ROA ※1	12.1	10.4	—
ROE ※2	12.3	10.4	—

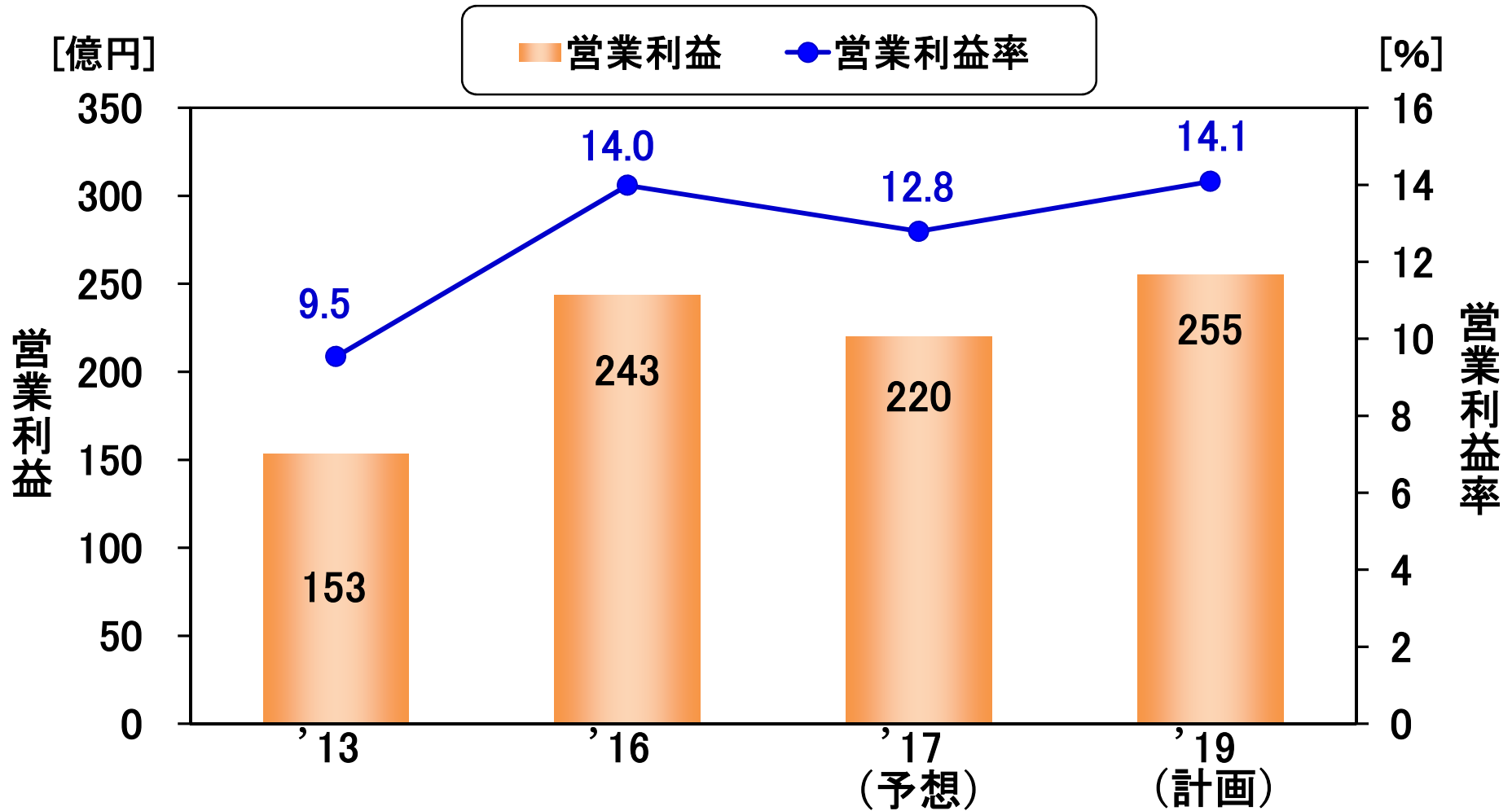
※1 ROA:総資産経常利益率

※2 ROE:自己資本当期純利益率



# 営業利益・営業利益率の推移

◆ 2019年度に最高益を更新(255億円)



おかげさまで  
創立80周年

80<sup>th</sup>  
Anniversary

バイオから宇宙まで  
 日油

創立80周年を機に  
さらなる飛躍へ

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 IR室 石垣良一  
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号  
電 話 : 03-5424-6651  
F A X : 03-5424-1482  
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>